

レポートを 書くために

吉田南総合図書館
レポート準備講習会①

1,2回生に
おすすめ

レポートを 書くために

これからの
学び

一般的な
レポートの
構成と進め方

資料収集
4つの
キーワード

図書館にある
資料の活用

これからの学び

一般的な
レポートの
構成と進め方

資料収集
4つの
キーワード

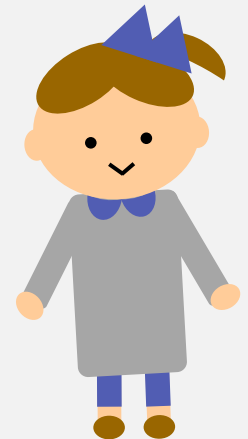
図書館にある
資料の活用

これからの学び

問われるのは

「発見」「探る」「解決」する力

- ・ 大学で「学ぶ」こと
- ・ 「レポート」を書くこと
とは…



これからの学び

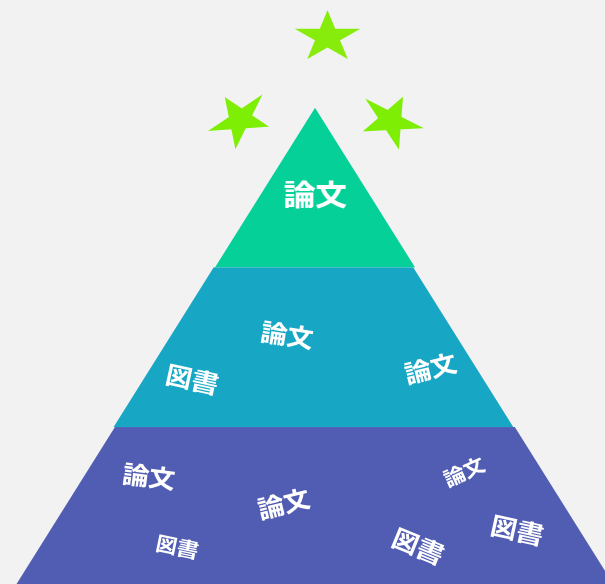
研究成果

「論文」や「図書」といった
文献資料に発表される



学問

発表された文献の
積み重ねにより発展



これからの学び

論文：

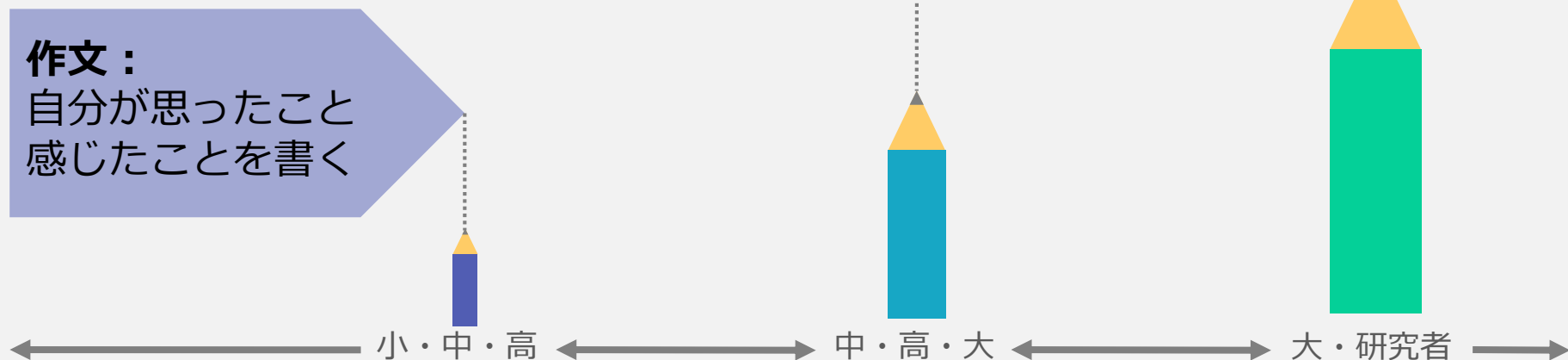
さらに「新しい解釈」や「事実」を盛り込んだ、「独創的」な内容が必要

レポート：

自分の「主張」、またその根拠となる「信頼性」のある「証拠」が必要

作文：

自分が思ったこと感じたことを書く



これからの学び

研究者（大学教員）

論文（研究成果）を書き、世に送り出し、
社会へとつなげる

学生

たくさんの論文（研究成果）を読み、
レポート（学習成果）を書く

次の課題発見につながり、「学ぶ」
ことの積み重ねとなる

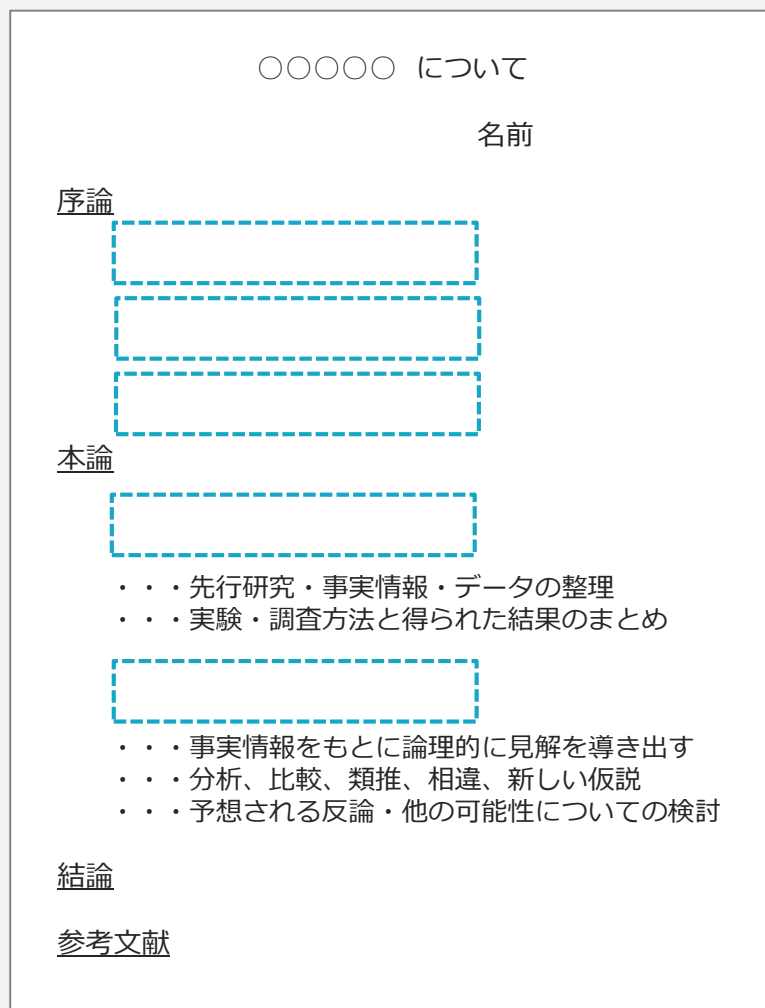
一般的なレポートの 構成と進め方

これからの
学び

資料収集
4つの
キーワード

図書館にある
資料の活用

一般的なレポートの構成



ここから選択してください

なにをするか

なぜやるか

どうする方法でやるか

事実情報・データの整理

考察

一般的なレポートの構成

問い →

答え →

○○○○○ について

名前

序論

なにをするか

なぜやるか

どうする方法でやるか

本論

事実情報・データの整理

- ・・・先行研究・事実情報・データの整理
- ・・・実験・調査方法と得られた結果のまとめ

考察

- ・・・事実情報をもとに論理的に見解を導き出す
- ・・・分析、比較、類推、相違、新しい仮説
- ・・・予想される反論・他の可能性についての検討

結論

参考文献

ここから選択してください

なにをするか

なぜやるか

どうする方法でやるか

事実情報・データの整理

考察

一般的なレポートの進め方


- ① テーマの決定
- ② 資料・情報の収集
- ③ 資料・情報の読み込みと整理
- ④ 執筆

① テーマの決定

出された課題をよく理解し、問題設定をします。

そのためには基礎知識、が必要

です（百科事典や関連データベース、図書館での
ブラウジング等）。

そしてを描き（チャート図や箇条書
きも有効）テーマを決定します。

ここから選択
してください

A.論文・データ・統計等

B.参考文献リスト

C.おおまかなアウトライン

D.事前調査

②資料・情報の収集

関連文献（ ）の調査・収集を
します。

実験・実地調査の場合もあります。

ここから選択
してください

A.論文・データ・統計等

B.参考文献リスト

C.おおまかなアウトライン

D.事前調査


③資料・情報の読み込みと整理

収集した資料や情報の読み込みと整理を行います。

④執筆

本論の執筆に入ります。

引用した論文や参照したデータの整理を行い、

を整えます。

ここから選択
してください

A.論文・データ・統計等

B.参考文献リスト

C.おおまかなアウトライン

D.事前調査

① テーマの決定

出された課題をよく理解し、問題設定をします。
そのためには基礎知識、**D.事前調査**が必要です。

（百科事典や関連データベース、図書館でのブラウジング等）そして**C.おおまかなアウトライン**を描き（チャート図も有効）、テーマを決定します。

② 資料・情報の収集

関連文献（**A.論文、データ、統計等**）の調査・収集します。
実験・実地調査の場合もあります。

③ 資料・情報の読み込みと整理

収集した資料や情報の読み込みと整理を行います。

④ 執筆

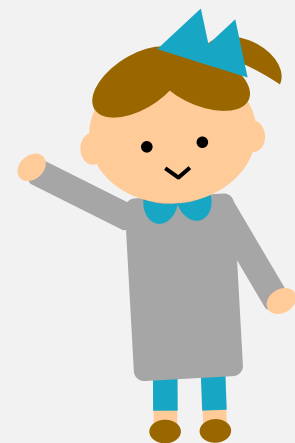
本論の執筆に入ります。引用した論文や参照したデータの整理を行い、**B.参考文献リスト**を整えます。

一般的なレポートの進め方

先行研究の文献資料を
収集することが重要



インターネットでも
情報は集められる…？



一般的なレポートの進め方

インターネット情報

- 速報性が高い
- 膨大な情報を検索できる
- 場所を問わず、手軽に利用できる
- ×信頼性・妥当性（情報の発信源、根拠など）があるかどうか
- ×インターネット上の情報だけが、情報ではない

図書館の資料

- 実際に閲覧・利用する資料や、電子資料のようにWeb上で閲覧・利用する資料は、編集・出版を経て世に出たものである
- 情報の信頼性・妥当性は高いと言える

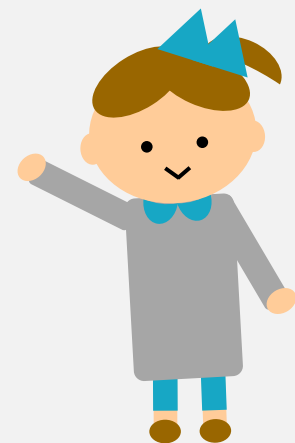
それぞれの特徴を理解してうまく使っていきましょう！

一般的なレポートの進め方

先行研究の文献資料を
収集することが重要



**図書館の資料を活用する
ことが不可欠！**



資料収集 4つのキーワード

これからの
学び

一般的な
レポートの
構成と進め方

図書館にある
資料の活用

4つのキーワード

Explore

どんな文献がある？

Q) すでに入手できている文献（課題図書など）がある場合

A) 最後の方にある「参考文献」「Reference」といった、その執筆者が執筆するにあたって、参考にしたり、引用した文献のリストを見てみましょう。

Q) そういった文献がない場合

A) 百科事典で、調べているテーマに関する見出しを見ます。その分野の基本文献が掲載されている場合があります。オンラインの「JapanKnowledge」も便利！

Q) キーワードってどうやって見つけるの？

A) 調べているテーマのキーワードを洗い出します。例えば、「Google」などの検索エンジンで、とっかかりを見つかるのも一つの手です。
そのキーワードをもとにどんな文献があるか、京都大学蔵書検索KULINE（クライン）でも検索してみます。

4つのキーワード

Evaluate

どの文献が役にたつ？

Q) 基本文献かどうか？

A) 先生からの推薦図書、事典に載っていた文献（事典の項目の執筆者の文献）、引用回数が多い文献がおさえておくべき必須の文献です！

Q) 図書 or 雑誌論文/記事 どちらが必要？

A) 図書：総括的で学術研究としては比較的確立したもの。雑誌論文：研究として新しく、個別テーマがあります。

Q) 内容の科学的/学術的妥当性は？

A) 様々な情報源から判断します。例えば、著者が匿名のインターネット情報（例：Wikipediaなど）を分析なしにそのまま引用するのは適切ではありません。

4つのキーワード

Locate

どこに その文献がある？

Q) 京都大学にある？

A) 京都大学蔵書検索KULINE（クライン）で検索します。

Q) 国内の他大学・他機関にある？

A) KULINEの「他大学検索」「横断検索」で検索するか、データベースCiNii Books（サイニイ ブックス）で検索します。

Q) 近くの公共図書館にある？

A) 京都府立図書館（+京都府立資料館の蔵書）と京都市図書館（京都市内の図書館の蔵書）を検索します。

Q) どうしても見つからないときは？

A) 図書館のスタッフに聞いてみましょう。

4つのキーワード

Collect

どうやって 手に入れる？

Q) 京都大学にある場合はどうする？

A) 所蔵している図書館/室に行って直接利用します。遠隔地の場合は取り寄せることができます（複写の場合は複写料金がかかります）。

Q) 他大学にある場合はどうする？

A) 直接訪問利用するか、図書館間相互利用サービスを利用して取り寄せます（料金がかかります）。

Q) 国内他機関、海外などにある場合はどうする？

A) 図書館を通じて取り寄せることが可能です。所属図書館・室へご相談ください。図書館スタッフが対応します。

4つのキーワード

Explore

どんな文献がある？

Evaluate

どの文献が役に立つ？

文献収集

まずは

KULINE



Collect

どうやって手に入れる？

Locate

どこにその文献がある？

レポートを書く

図書館にある資料の活用

これからの
学び

一般的な
レポートの
構成と進め方

資料収集
4つの
キーワード

図書館にある資料の活用

- ① 参考図書
- ② 入門書・概説書
- ③ 学術書
- ④ 学術雑誌
- ⑤ 電子資料

図書館にある資料の活用

①参考図書

言葉や事例についての意味や概念の定義
などを調べるとき

例) 百科事典、語学辞書

数値やデータについて調べるとき

例) 統計、年表、データブック

図書館にある資料の活用

② 入門書・概説書

一定の評価がある学術成果を体系的に
まとめたもの

例) 教科書、新書、

『○○を学ぶ人のために』 (世界思想社)

図書館にある資料の活用

③学術書

新しい研究成果を公表したもの

例) 『子育て支援が日本を救う』 (勁草書房)

『技能を統合した

英語学習のすすめ』 (ひつじ書房)

『創造と狂気の歴史』 (講談社)

図書館にある資料の活用

④ 学術雑誌

最新の研究成果を公表したもの

(「論文」の形で発表されます)

例) 「nature」 「日本物理学会誌」

図書館にある資料の活用

⑤電子資料

電子ジャーナルや電子ブックなどで、雑誌論文や図書を電子化し、Web上で読むことができるようにしたものの。

例) Maruzen eBook Library

図書館にある資料の活用

コピペ、改ざんはしてはいけない

コピペ（剽窃）：インターネットで検索してきた情報や図書の内容を、まるで自分が考えたことかのようにレポートに写してしまうこと。

改ざん：実験や統計の結果などを都合のいいように変えてしまうこと。

アカデミックな世界には、「人がそれなりの努力を傾注して調べたり考えたりして到達した真理・知識は、基本的に人類すべてのものとして共有されるべきである。しかし、その代わりに、それを生み出した人にはそれ相当の尊敬が払われなければならない」という基本的なルールがある。剽窃はこのルールに違反している。論文の剽窃がきびしく咎められるということは、学生もこのアカデミックな世界の一員と考えられているということだ。

出典：戸田山和久著『新版 論文の教室』（p.35）

ありがとうございました



京都大学吉田南総合図書館
Mail:eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
Tel:075-753-6525

<予告> レポート準備講習会②

レポートを書くための、
文献をあつめよう

近日開催

2019年6月

10日(月)、12日(水)、14日(金)

①12:30～ ②16:30～ (各日2回開催)